

作業療法：成長の可能性

サマンサ シャン, MSc, PG Cert, Dip COT, FRCOT

世界作業療法士連盟 会長

作業療法士はしばしばコメディカル、および／またはリハビリテーション専門職と呼ばれる。多くの作業療法士が保険制度の範囲で従事しているものの、社会や地域の領域で従事する者もいる。この実態は、Transcending Health（単に病気や障害がないということではない、身体的・精神的・社会的側面の総合的なバランスがとれた健康状態）と健康と幸福の環境的・社会的決定要因を取り扱う作業療法の概念に沿うものである。そのため、作業療法は社会の変化および健康を取り巻く環境の変化の影響を受ける。したがって、作業療法士の専門性を発揮する絶好の機会に巡り合うために、今日とこの先の未来の健康と社会の情勢に何がインパクトを与えるか、理解する必要がある。

最新の世界保健機構（WHO）のデータによると、世界的な高齢化、循環器疾患・がん・糖尿病・慢性呼吸器疾患といった非感染性疾患（NCDs）の増加、世界人口の16%以上が重度の障害を有すること、25億人以上が何らかの自助具を必要としていることが明らかになっている。また、近年の気候変動は日常生活に影響を与え、人災や自然災害は、個人やコミュニティが望む作業へのアクセスや参加に影響を与え、侵害している。これらは作業療法士が多大な貢献ができる領域であり、世界の動向を知ることは作業療法士として何ができるのか、ヒントを与えてくれる。つまり、世界の、大陸ごとの、地域のニーズに応えるための様々なチャンスを探索しながら、作業療法士の専門性の基盤となる価値や理念を維持する方法を考え、内省することが重要なのである。

講演では、戦略的思考（strategic thinking）と戦略的計画（strategic planning）へのアプローチ、さらに作業療法という未来を確実なものにするために我々に課せられる作業療法の価値を推進するための役割についてお話する。